

錦上添花

錦ヶ丘中学校
学校便り
5月10日発行 NO.4
文責 出崎 友英

体育大会に寄せて

5月17日(金)は、錦ヶ丘中の体育大会です。

私が10年以上前に勤務した中学校では、その当時体育大会がありませんでした。それまでの様々な経緯から、ずっと体育大会を実施していないとのことでした。

1年生の担任だった私は、クラスの生徒たちにこれまでの自分の体育大会での思い出話をしながら、「体育大会はよかぞー。」「体育大会は、感動して泣いけんね。」「みんなやりたいと思わないか?」と語りかけました。

その話を聞いて生徒たちは、「えー意味がわかりません。」「体育大会なんてきついなさなくていいですよ。」「感動して泣いなんて、ありえません。」というのです。

私は歯がゆいやら悔しいやらで、心の中で(この子たちにぜひ体育大会を体験してほしい)と思っていました。

そんな中、体育科の先生たちを中心に「体育大会を復活させよう。」という機運が高まり、その次の年に体育大会復活が決定したのです。

しかし、それまで長い間体育大会がなかったので運動場のどこにテントを立てるか、入場門はどこに作るのか、応援団の演技はどんなことをするのか…。いろんなことが手探りの状況でした。➤



しかし、だからこそ先生方や生徒たちが知恵を絞り、工夫を凝らし、自分たちの体育大会をつくっていききました。

困難を乗り越えて復活した1年目の体育大会。

すべてを見終えた保護者の方々が、口々に「ありがとうございました。」「とても感動しました。」と言われながら帰っていかれるのが、とても印象的でした。

そして、次の年。1年生の時に私の体育大会の話聞いて、「体育大会なんてやりたくない…。」と言っていた生徒たちが3年生になりました。彼らが中心となって体育大会を行う番がきたのです。

「昨年先輩たちの体育大会を越えよう。」という思いを胸にいただきながら、練習や準備に取り組む彼らは生き生きとしていました。いろいろな課題にぶつかり悩みながらも前に進もうとする彼らは、とてもたくましく見えました。

体育大会のクライマックス。閉会式での成績発表に一喜一憂する彼らの目には涙がありました。お互いに肩を抱き合って健闘を称えあい、声を上げて泣いている姿もありました。そして、「先生方、体育大会をしてくれてありがとうございました。」「体育大会ができてよかったです。」という言葉が、体育大会後の感想文にたくさん書いてありました。

体育大会におかってみんなで頑張りましょう。

そして、みんなで楽しみましょう。きっと、一人一人が大切な何かを感じるのだと思います。

結団式がありました。

4月30日(火)、体育大会の「結団式」がありました。生徒会執行部から今年の体育大会テーマ「Never say never～勝利(せいしゅん)を掴み取れ錦スマイル～」が発表されました。そして、体育委員長から体育大会への思いが語られました。各団の団長に4色の団旗が手渡され、団ごとに分かれてリーダーからの自己紹介などがありました。生徒会執行部やリーダーの姿から、彼らの体育大会への思いが伝わってきて、5月17日の体育大会に向けてとてもいいスタートとなりました。



▲ 体育大会テーマを発表する生徒会執行部の皆さん

◆お知らせです。

○4月27日に開催された熊本市中学生バスケットボール優勝大会において、女子バスケットボール部が熊本市内の強豪校を次々に撃破して見事優勝しました。

同大会で男子バスケットボール部は代表決定戦に勝って、男女そろって5月末に開催される県大会に出場します。男女バスケットボール部の皆さん、おめでとうございます。

○5月3日に開催された熊本県協会長杯中学生卓球大会で、卓球部が男女ともに予選パートを全勝で勝ち上がり、ベスト16に進みました。男女卓球部の皆さん、おめでとうございます。



限界こそ、新たなスタートラインだ。

「先生のコトバ集」より